

小川町版スーパー・シティプロジェクト～安心・安全な暮らしの実現～

概要

町内の3つの都市機能誘導区域と道の駅及びその周辺の整備を図ると共に、ゼロカーボンシティ宣言をした町として二酸化炭素排出量削減を目指す。

課題

- ・地域住民の高齢化と空き家・空き店舗の増加
- ・観光拠点や地域住民の交流の場としての道の駅及びその周辺の魅力向上
- ・避難所等への災害停電時の電力供給

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地域の魅力を感じられると共に、利便性が高い市街地の形成	短期(3年) 中期(5年)	・東小川住宅団地内の学校跡地へ必要な都市機能を誘導し、地域住民が集う拠点を整備 ・道の駅の再整備と水辺deベンチャーチャレンジとの連携による道の駅から川辺へと続く遊歩道の整備	・スーパーマーケット等 ・キッチンカーやカフェなど営業施設
スマート	ICT技術を活用した安心・安全な暮らしと脱炭素を目指した移動の確保	短期(3年) 中期(5年)	・ICT技術の活用による介護サービスや見守りサービスの提供 ・地域住民等の新たな移動手段をEVや非接触型充電機能付き電動アシスト自転車により確保	・介護福祉系 ・EVシェア ・EV充電器 ・シェアサイクル
レジリエント	災害停電時の避難所の電源の確保	中期(5年) 長期(10年)	・EVからの電力供給 ・道の駅の防災機能の強化 ・太陽光発電設備等の再生可能エネルギーによる発電と供給	・EVシェア ・EV充電器 ・蓄電池 ・太陽光発電 ・再生可能エネルギー

小川町版スーパー・シティプロジェクト ～安心・安全な暮らしの実現～



《東小川拠点》

- ・団地内の学校跡地へ必要な都市機能を誘導し、地域住民が集う拠点を整備。
- ・ICT技術の活用による介護サービスや見守りサービスの提供。
- ・EVからの電力供給 等。

学校跡地の利活用イメージ

東小川小学校



旧上野台中学校



《道の駅及びその周辺》

- ・道の駅の再整備と水辺deベンチャーチャレンジとの連携による道の駅から川辺へと続く遊歩道の整備。
- ・地域住民等の新たな移動手段をEVや非接触型充電機能付き電動アシスト自転車により確保。
- ・道の駅の防災機能の強化。
- ・太陽光発電設備等の再生可能エネルギーによる発電と供給。

太陽光発電設備



道の駅おがわまち



《エリア全体》

- ・EV、電動シェアサイクルの導入
- ・EVからの電力供給 等。

電動アシスト自転車



電気自動車用急速充電器



概要

半径2km圏内に3つの都市機能誘導区域と道の駅及びその周辺の整備を図ると共に、ゼロカーボンシティ宣言をした町として二酸化炭素排出量削減を目指す。